

富士市報

(毎月1日発行)

(1) 人口の動き

人口総数	46,825	男	23,474
世帯数	9,263	女	23,351
転入	193	出生	68
転出	68	死亡	21
婚姻	37	離婚	4
		死産	11

(昭和36年3月1日現在、住民登録による)

積極的予算を編成

総額 八億三千四百万円

一般会計 特別会計 企業会計

急テンポに工業都市へと発展

昭和三十六年度の予算をきめる三月定例市議会本会議は、三月六日午前九時招集、会期は向う十三日間の三月十八日まで開かれました。この間、総務、建設、経済の各委員会が開かれそれぞれ付託議案を慎重に審議し三月十八日の最終本会議をもって重要案件など四十二議案はすべて原案通り可決され、十三日間にわたる三月定例市議会は無事に閉会いたしました。遠藤富士市長は第一日目の本会議席上、昭和三十六年度に対する施政方針についてその重点施策を明示しましたが、本市の新年度予算額は前年度よりも約一億八千七百九十九万円の増額をみせ一般会計および特別会計を合わせた八億三千四百五十一万二千円という積極的な予算を編成しました。以下は昭和三十六年度予算の大綱について御説明申し上げます。



市長 遠藤 治

入 歳

市税三億七千万円

前年度当初より七千万円増収

本年度市財政は前述の如き国内経済事情に伴い明るい見通しに立っており、その動向は全く予断を許さないものがある。これは前年度当初よりも約一億八千七百九十九万円の増額をみせ一般会計および特別会計を合わせた八億三千四百五十一万二千円という積極的な予算を編成しました。以下は昭和三十六年度予算の大綱について御説明申し上げます。

税外収入は 二億二千三百万円

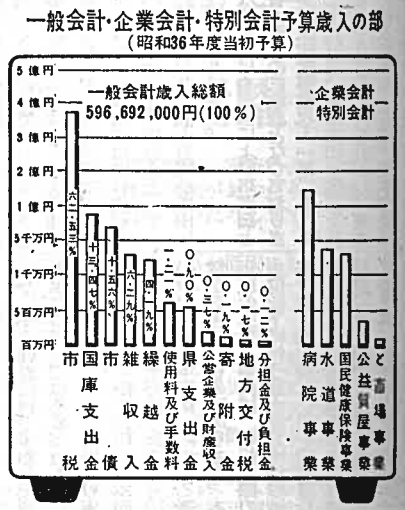
次に税外収入として一億二千三百三十九万八千四百円を計上致しました。これは前年度に比べて約一千四百二十万円の増収を計上致しました。その内訳は、市債の発行による収入が約八百五十万円で、その他の収入が約四百八十九万八千四百円です。

出 歳

消費的経費を節約

市役所事務の合理化を図る

つきに一般会計の支出について御説明申し上げます。昭和三十六年度当初予算は、前年度に比べて約一億九千六百九十九万二千円という増額を計上致しました。これは前年度当初よりも約一億八千七百九十九万円の増額をみせ一般会計および特別会計を合わせた八億三千四百五十一万二千円という積極的な予算を編成しました。以下は昭和三十六年度予算の大綱について御説明申し上げます。



市単独 街路事業を推進

第五期市計画費について申し上げたい。市単独事業は本年度も重要視し、その推進を期す。特に市単独事業費の増額を期す。その内訳は、市債の発行による収入が約八百五十万円で、その他の収入が約四百八十九万八千四百円です。

南中学の新設

第六次教育費について一億七千七百九十九万八千四百円を計上致しました。これは前年度に比べて約一千四百二十万円の増収を計上致しました。その内訳は、市債の発行による収入が約八百五十万円で、その他の収入が約四百八十九万八千四百円です。

消防署を設置

消防費について、前年度に比べて約七百八十三万円の増額を計上致しました。これは前年度当初よりも約一億八千七百九十九万円の増額をみせ一般会計および特別会計を合わせた八億三千四百五十一万二千円という積極的な予算を編成しました。以下は昭和三十六年度予算の大綱について御説明申し上げます。

公営住宅 20戸建設

第七次社会及労働施設費について、前年度に比べて約一千四百二十万円の増収を計上致しました。その内訳は、市債の発行による収入が約八百五十万円で、その他の収入が約四百八十九万八千四百円です。



行政事務の改善へ

市役所事務の合理化を図る。市単独事業費の増額を期す。その内訳は、市債の発行による収入が約八百五十万円で、その他の収入が約四百八十九万八千四百円です。

道路舗装を重点に

土木費について、前年度に比べて約一千四百二十万円の増収を計上致しました。その内訳は、市債の発行による収入が約八百五十万円で、その他の収入が約四百八十九万八千四百円です。